

認知症の人とともに築く 総活躍のまち「ごぼう」



御坊市市民福祉部介護福祉課 谷口 泰之

御坊市について

- 紀伊半島海岸部のほぼ中央部
- 総面積：43,91km²
- 日高川を境に河北、中央、河南エリアに生活圏域
 河北：地元の方と移住の方が混在。
 中央：官公庁や商業施設が集中。
 河南：農業や漁業が盛ん。2世帯同居が多く残る
- 昼夜間人口比率：115%



平成31年3月31日現在

総人口	65歳以上人口	高齢化率	日常生活圏域	認知症地域支援 推進員
23,397人	7,279人	31.1%	6圏域	7人
独居高齢者数	要介護認定者数 (第1号被保険者)	認知症日常生活 自立度Ⅱ以上	第7期介護保険料 基準額	地域包括支援 センター数
2,298人	1,836人	1,146人	6,520円	1 (直営)

御坊市の自慢



スターチス生産量日本一



人を見たけりゃ”御坊祭”



日本のシンデレラ”宮子姫”生誕地



市民のソウルフード”せち焼き”



麻雀牌・サイコロ生産量日本一



西日本一短い鉄道”紀州鉄道”

御坊市の認知症施策に関する組織図

介護福祉課

地域包括支援センター

認知症初期
集中支援チーム

認知症地域
支援推進員

高齢福祉係

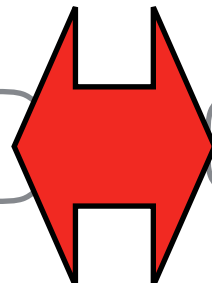
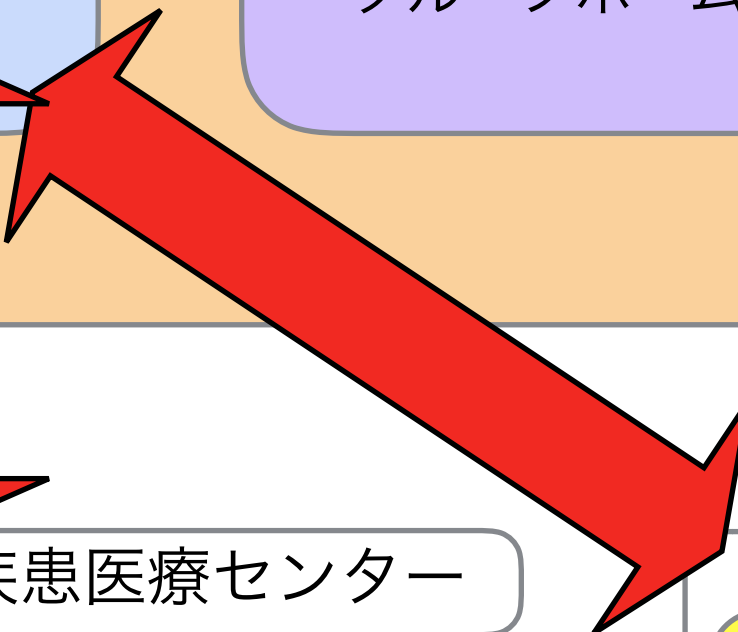
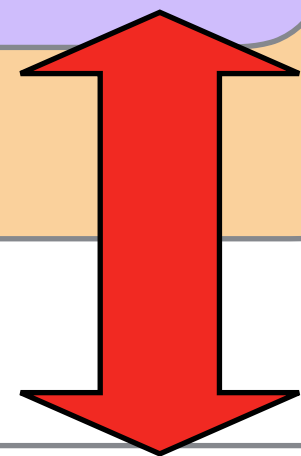
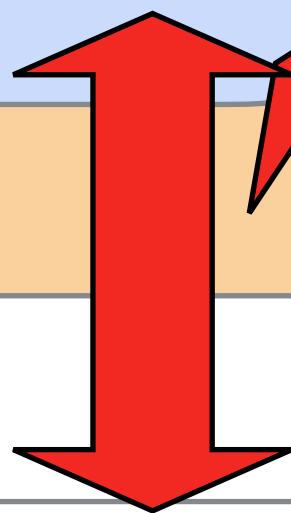
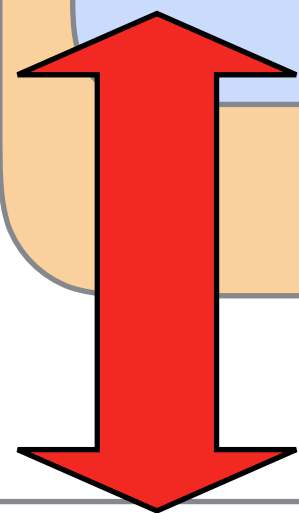
介護保険業務全般
要介護認定業務
介護保険事業計画策定
緊急通報システム
デイケアサロン
グループホーム利用助成事業

認知症サポート医

認知症疾患医療センター

在宅介護支援センター

認知症地域支援推進員



これまでの御坊市の認知症施策

認知症地域支援体制構築 等推進事業（H21～22）

- ・「認知症コーディネーター会議」発足
- ・認知症地域資源マップ
- ・高齢者安心サポート事業
- ・安心声かけ訓練
- ・キャラバン・メイト養成研修
- ・認知症連携担当者配置

市町村認知症施策総合 推進事業（H23～25）

- ・認知症地域支援推進員配置
- ・認知症疾患医療センターとの連携体制づくり
- ・キャラバン・メイト中心のまちづくり組織結成
- ・若年性認知症の方への支援（1人の関わりから）

認知症総合推進事業 （H26～）

- 御坊市認知症ケアパス作成⇒第6期介護保険事業計画に反映させる
- ・認知症初期集中支援チーム設置（H27. 10月）
- ・介護家族のつどい「ごぼうホッとサロン」開設

今までの取り組みを継続しつつ、
総合的な取り組みに再構築

H28年度～「ごぼう総活躍のまちづくりプロジェクト」

推進員の役割って大変じゃないの？

認知症カフェの運営？

認知症サポーター養成講座の展開？

介護と医療の連携体制づくり？

認知症ケアパス作成？

事業をこなすことで精一杯・・・

でも、**本人の思い**ってどうなの？

「私たち抜きに私たちのことを決めないで！」

行政から求められている推進員の役割

本人の声に耳を傾け、本人の視点に立ち、
本人とともにこれからの暮らしを考える。
その先に、認知症になっても自分らしく暮
らせるまちをつくるのために、多くの仲間
(本人含め) と地域づくりに取り組む。

本人視点の重視

認知症にやさしいまち
って、どんなまち？

本人たちが思う

「やさしい」は何なのか？

ある認知症の本人の言葉

「認知症の人を守る」と
いいながら、私たちは
「当たり前」と「
さえも奪われました。

住み馴れた地域で
これまでと変わらない
暮らしを

やりたいことを
本人とともに実現し、
運転“しなくていい”生活へ

本人と関わったきっかけ

- 民生委員から「最近、近所の男性が朝から車に乗って出かけるみたいやけど、事故とか起こしたら・・・仕事もしていないはずなのにどこへ？」
- 後日、自宅訪問するも本人不在。
- 妻「毎日、**仕事に行く**って車乗って出て行くんですよ。だから**私も弁当作って持たせているの**」

どこへ行っているのだろう？

早朝に家を出るタイミングで**会いに行こう！**



車は傷だらけ・・・

運転中の視線や、ブレーキのタイミング等
どんな感じなんだろう？気になるけど・・・

※本人・家族に写真使用了承済み

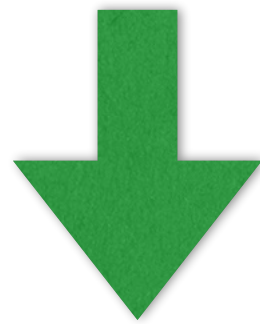


本人の「仕事場」



乱雑に物が置かれている

仕事場まで行くために車が必要



**仕事場を変えれば、車は不必要？
介護認定を受けて、認知症対応型
デイサービスへ繋がられないか？**

本人のチカラ～役に立ちたい～

- 要介護認定を受けていただき、要介護1と認定。
- 認知症対応型デイサービス管理者に相談。
- 「事業所に手づくりのお地蔵さんがあるのですが、その祠を作っていただけませんか？」

本人 「ワシがみんなの役に立てるんやったら、どこへでも行くよ！」

自分の「居場所」 → 地域で活躍！



使い慣れた道具を持参して作業



お地蔵さんのほくら作り



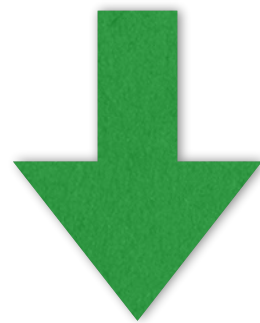
デイサービス内で本人ミーティング



手づくりのお地蔵さん

スタッフの気づき→本人の思い

- ほこら作成中に別の利用者たちが「これ完成したら“餅まき”やな」と盛り上がった。
- スタッフは聞き逃さず、包括に報告。「本人たちが餅まきやるって盛り上がってます」



それ、本人ミーティングやん！

本人ミーティングってこれだ！

●行政として

本人ミーティング実施のために、企画・運営・実施をどうするか悩んでいたが・・・

●認知症デイの様子を見て

ここに毎日、本人が集まってるやん！

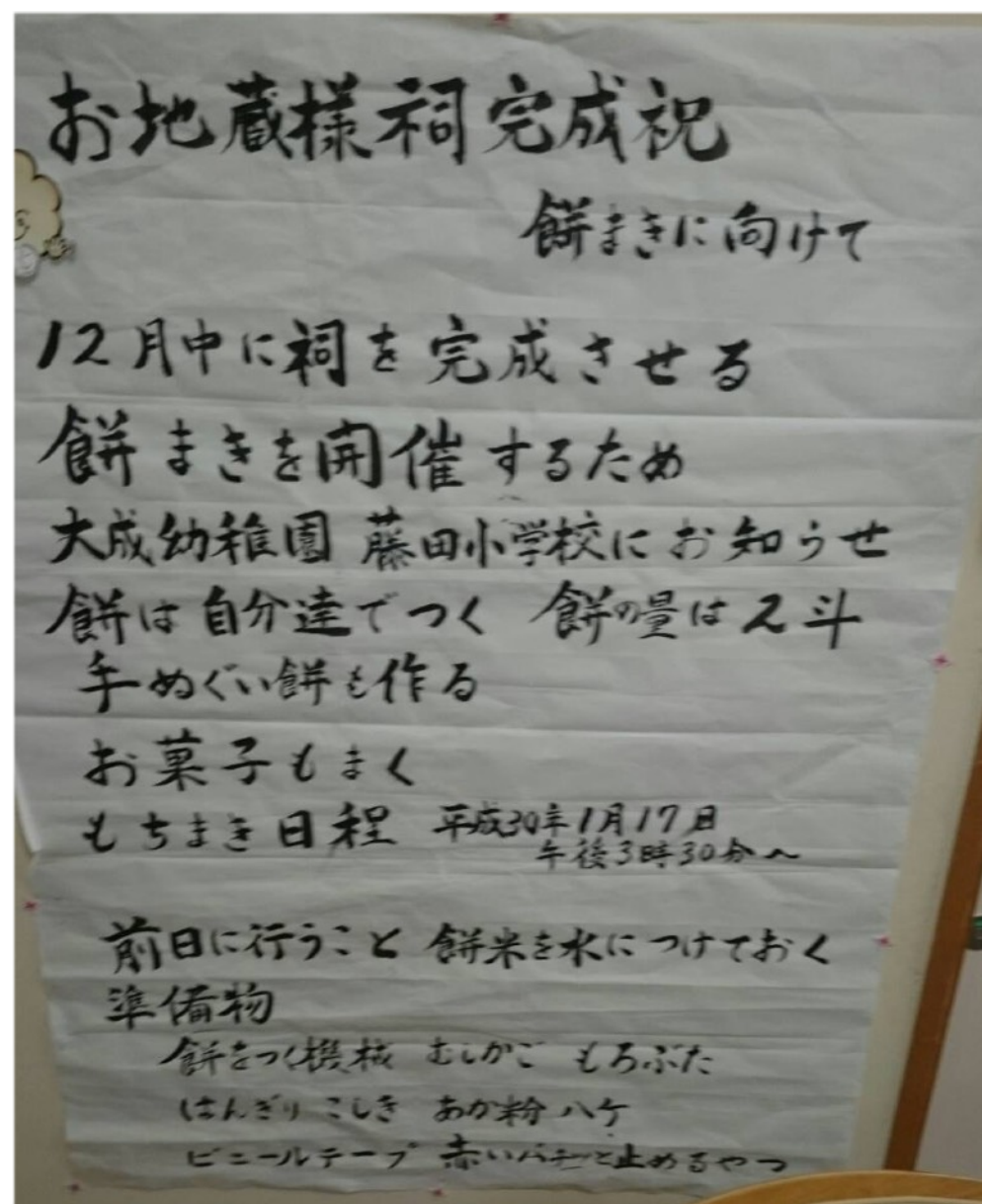
特別なことしなくても、ここがまさしく本人ミーティングの場になってる！

「餅まきミーティングの記録を残しておいて！」とスタッフに依頼

本人ミーティングは特別な場ではない！

ほこらが完成したら餅まきしたい！！

餅まきの聖地
和歌山！



記録の清書は別の利用者が作成

餅まき実現のために、デイ利用者の本人たちが会議をして計画。

つきたての餅を撒きたいから、当日の朝から餅つきしよう！

杵と石臼でやる？（職員提案）

しんどいから、機械でええわ（本人たち）

本人本位！

地域密着型サービス事業所運営推進会議にて

- 事業所の地域密着型サービス運営推進会議にて、本人ミーティング実施したことを報告。
- 参加した住民から「もち米足りる？うちにあるから持ってくるよ」と協力の申し出。

**本人ミーティングをきっかけに
地域とつながり、地域の人が活躍！**



多くの住民とともに完成を祝い餅まき開始

車の運転はどうなった？

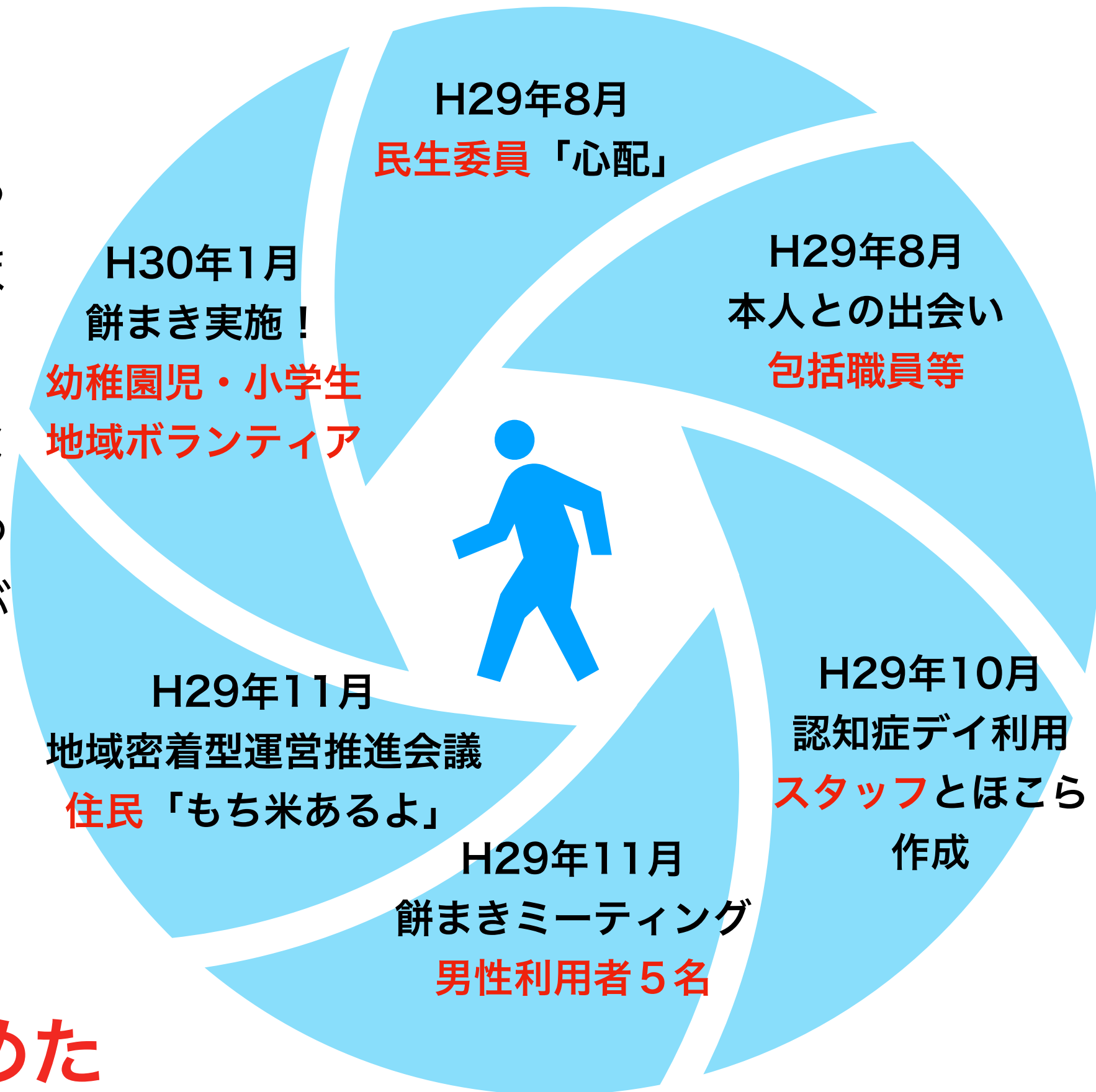
- 祠の完成を目指し、週3回（月水金）デイサービスを利用するようになる。
- デイ以外の日は「今日は休み」と言うようになった。
- 倉庫へ木材を取りに行くのも、デイのスタッフとともに行く。

**本人にとって、車の運転の必要が
なくなった！**

民生委員の「心配」から餅まき実施まで

本人と出会い、ほこら作りが始まり、「餅まきしたいなあ」の声で、多くの方（多様な立場）との出会いがあり、様々な「活躍」が発生。

本人を中心に、
地域が繋がり始めた



推進員の“ヒラメキ”??

同僚がア○ゾンで購入したパソコン
モニターラックを見て
「これ、作れるんじゃない？」



既製品のサイズを測り、
手書きの設計図を作成

大工の技術を頼りに推進員から個人的依頼

使い慣れた道具で次々に作業開始！



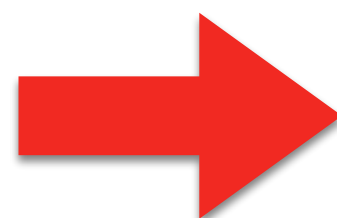
高い完成度で、注文殺到！

他の事業所にも様々な特技を持つ人がいる！

A認知症デイ

部品の加工

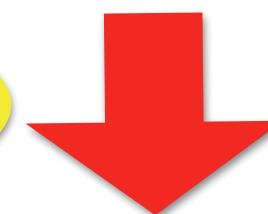
部品の組立、完成！



B認知症デイ

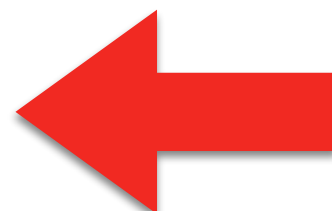
加工した部品をヤスリがけ

認知症地域支援推進員



C小規模多機能

ヤスリがけした部品に塗装



事業所（法人）の壁を超えて連携！

本人から本人へ作業を引き継ぎ

名付けて

地域密着“循環型”サービス！

これからも、努力していかなあかんと思ってます。
みなさん、これからもよろしくお願いします。



棟梁が入院・・・

でも棟梁の作業を引き継ぐ！

2代目棟梁が新たに祠を製作！



2代目

「祝い事はこれぐらい派手にやる方がええんや！」



メディアが本人にインタビュー！

私は九十一才になるけれど
今が一番充実している
色々なことに興味があるし
それを支えてくれる沢山の
人がいる
本当にありがたいと思う



本人の声を聞く、ということがそれほどハードルが高いことなのか？実は地域づくりにおいて、本人の声を聞くことが一番シンプルな方法なのではないか。

NHK厚生文化事業団「認知症にやさしいまち大賞」

受賞団体への表彰状を御坊市在住91歳の認知症の女性が筆耕

第百

認知症にやさしいまち大賞

ごぼう総活躍のまちづくりプロジェクト

西山さんから始まった地域づくり

あなた方の活動は認知症七百万人時代を
目前にした今 認知症とともに生きる
当事者とすべての人達が自らの住む町で
ともに安心してよりよく暮らしていくための
先駆的な取り組みとして選考委員から
高く評価されました

取り組みがより発展し国内全体に
広がっていく事を期待しここに表彰

します

平成三十年二月十八日

NHK厚生文化事業団

理事長 鈴木賢一

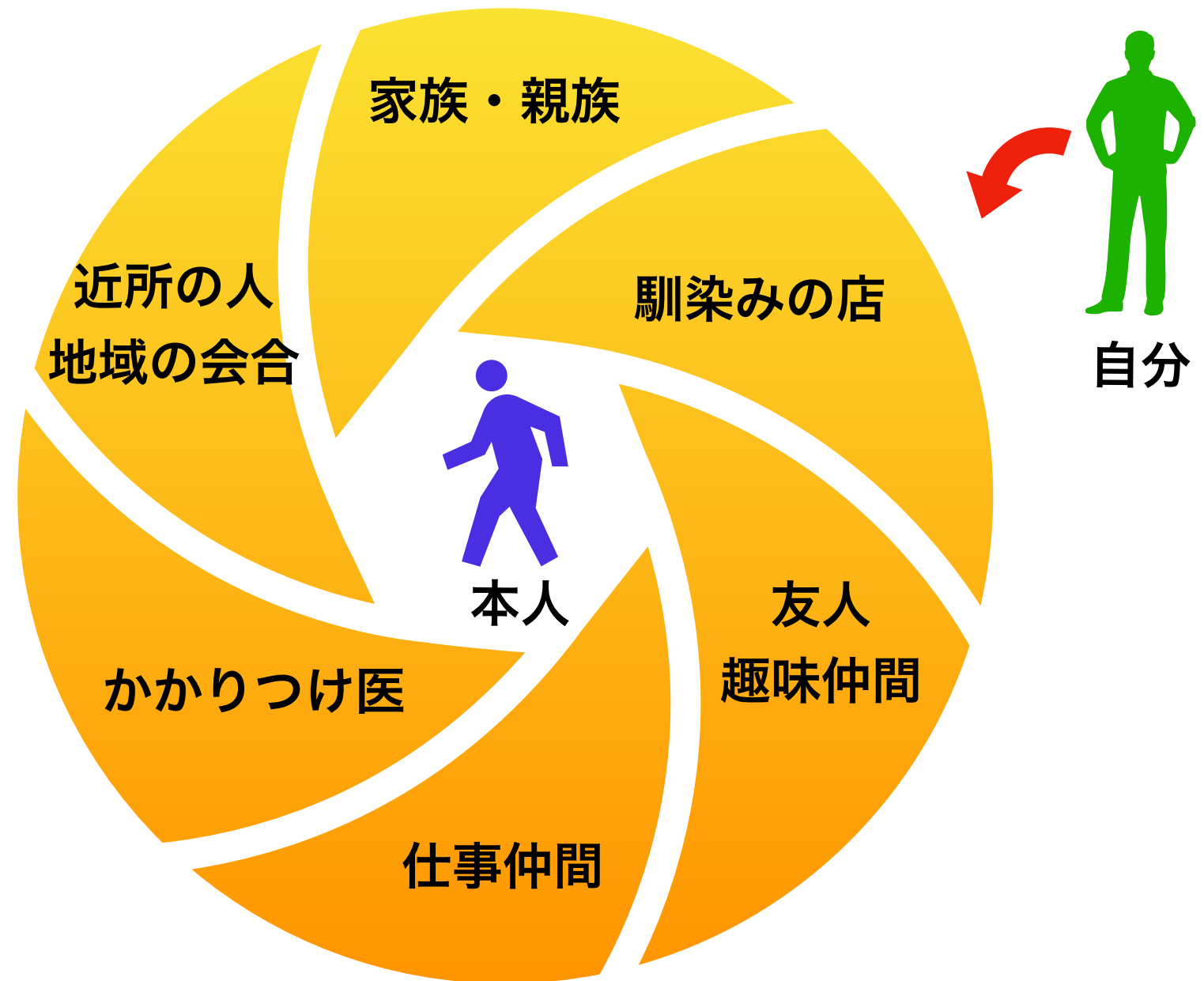


巻き込む？ 巻き込まれる！

誰が中心？

「巻き込む」という表現は、自分が中心となって風を起こしているイメージ。

「本人が中心」となって吹いている風に「巻き込まれる」ことも、ありなんじゃないかな？



「巻き込む」とうまくいかないことも・・・

「**巻き込まれる**」と、自身の（が）新たな資源に。

推進員のみなさまへ

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを、**自分ごと**として考えてみましょう。でも、**自分ごとって何??**

認知症になったら・・・というより、自分がこれから、住み慣れたまちでどういう暮らしを送っていききたいか。

そのために、**ひと足先に認知症になった方々の声を聴く。**

for??

with!!

「認知症の人**に**」ではなく、「認知症の人**と**」何ができるか。
まずは1人でいいから、その人から始まる繋がりを大事に。

仲間とともに、認知症になっても、希望を持ち、誰もが活躍できる地域をつくっていきましょう！

最後にオマケ

地域づくりって
意外なことから
キッカケに・・・

やってほしい・・・

よりも

やりたい！

と思える地域づくりがいい！

